

〈問い合わせ先〉

電話 052-661-1611

交通部安全対策課

安全対策課長 間部 政道（内線 2640）



平成 29 年 9 月 1 日
第四管区海上保安本部

夏季の海の事故ゼロ推進活動期間中の事故発生状況〈速報〉 (7月16日～8月31日)

第四管区海上保安本部では、7月16日から8月31日の間、プレジャーボート等の小型船舶やマリンレジャー愛好者を対象として「海の事故ゼロキャンペーン」及び「夏季安全推進活動」を実施しました。

期間中、管内で発生した事故は、

小型船舶事故 8 隻（前年 15 隻）【過去 10 年間で最少】

マリンレジャーに伴う人身事故 36 人（前年 29 人）【例年より、多発】

で、事故に伴う死者は 3 人（前年 8 人）でした。

1 小型船舶事故

- (1) プレジャーボート等の小型船舶の事故発生隻数は 8 隻（前年 15 隻）で、過去 10 年間で最も少なく、これら事故に伴う死者はありませんでした。
- (2) 事故の発生した小型船舶の全てがプレジャーボート（前年 11 隻）で、遊漁船（前年 1 隻）及び漁船（前年 3 隻）の事故の発生はありませんでした。
- (3) 事故の種類は、機関故障が 3 隻、乗揚及び推進器障害が各 2 隻、運航阻害[※]が 1 隻となっています。

(例)

- ・海上において機関の電気系や冷却水系の故障により航行不能となったもの。
- ・花火大会を観覧するため夜間航行中に定置網や、自船に向かってくる船舶を避けようとし進行方向を変えた際に暗礁に乗揚げたもの。

- (4) 小型船舶の事故が少なかった理由としては、適切な見張り・発航前点検の実施などの船長の遵守事項に係る周知・指導活動と地元関係者の皆さんの事故防止への思いや活動が功を奏したものと思われま。

(例)

- ・篠島及び日間賀島の各漁協に設置されている同報系防災行政無線放送（エリアトーク）を利用し地元小学生約 80 人の「安全メッセージ」を放送。
- ・鳥羽磯部漁業協同組合答志支所女性部に発足したライフジャケット着用推進員（通称ライフガードレディース：LGL）の活動。
- ・各地域において結成されている事故防止のための各種協議会等の活動。

※運航阻害：バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう。

2 マリンレジャーに伴う人身事故

(1) マリンレジャーに伴う人身事故は36人(前年29人)で、これら事故に伴う死者は3人(前年8人)でした。

(2) マリンレジャーの活動の種類別では、遊泳中12人(死者3人)(前年15人(死者なし))、サーフィン中10人(前年3人)、水上オートバイ遊走中3人(前年3人)などとなっています。

(例)

- ・遊泳中の事故では、泳力不足による溺水(6人)が多く、なかには波が高く遊泳禁止中の入水によるものもあり。
- ・サーフィン中の事故では、転倒した際にサーフボードやボードのフィンが自身に当たり切創するなどの負傷事故(9人)が多く発生。初心者の技量不足、ルールやマナーの認識不足、暑さのためウェットスーツの未着用などが要因としてあげられる。

(3) その他、特徴的な事故としては次のものがあります。

① 花火大会観覧時の事故

夜間に、花火大会を観覧するために航行中の7人乗りのプレジャーボートが護岸に接近したことに気付くことが遅れ、これを避けようとし急旋回したところ、船体傾斜により乗船者が海中転落するなど5人が負傷。

② 気象状況悪化時の事故

夕刻、磯釣り目的で現場に着いたところ、台風によるうねりの影響もあって波をかぶるような状況にあったにもかかわらず釣りの準備を続けたため、高波にされわれ海中転落(事故者は、地元漁船により救助)。

【活動の種類別事故者数】

遊泳中	:	12人(死者3人、負傷者4人)
サーフィン中	:	10人(負傷者9人)
プレジャーボート夜間航行中	:	5人(負傷者5人)
水上オートバイ中	:	3人(負傷者3人)
磯遊び中	:	2人(負傷者2人)
ウェイクボード中	:	1人(負傷者1人)
釣り中	:	1人(負傷者0人)
スキューバダイビング中	:	1人(負傷者0人)
その他	:	1人(負傷者1人)